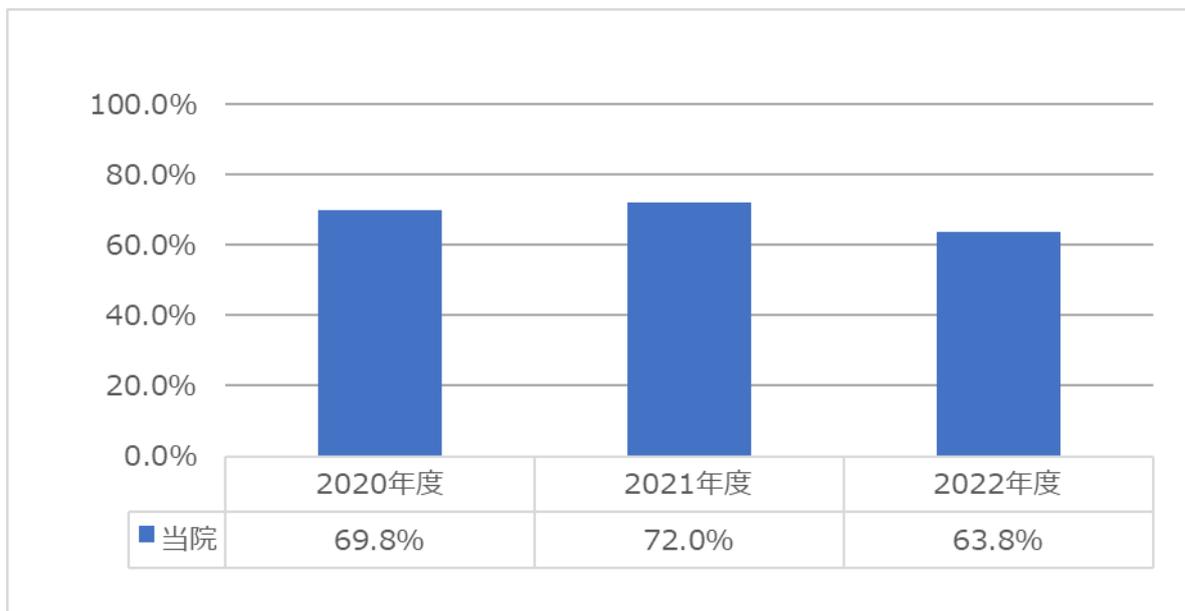


指標 2 2 大腸癌に対する腹腔鏡下切除術率



<定義>

分子	:	分母のうち、下記別表 1 に示す手術を実施した症例数
分母	:	消化器外科における結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍及び直腸肛門（直腸 S 状部から肛門）の悪性腫瘍の症例数
期間	:	2020 年度～2022 年度（1 年毎に集計）
対象	:	上記期間の退院患者
値の解釈	:	高い方が望ましい

別表 1

番号	Kコード	枝番	手術名 1	手術名 2
1	K642-2		腹腔鏡下大綱、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	
2	K719-3		腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	
3	K740-2	1	腹腔鏡下直腸切除・切断術	切除術
4	K740-2	2	腹腔鏡下直腸切除・切断術	低位前方切除術
5	K740-2	3	腹腔鏡下直腸切除・切断術	切断術

<解説>

当院では、大腸癌の患者さん個々に合わせて根治性（癌を治す）と安全性を最優先に考えた治療の提供を心掛けていますが、近年、さらに低侵襲性（身体への負担が少ない）も考慮した腹腔鏡手術に積極的に取り組んでいます。高難度手術と言われる腹腔鏡下の右半結腸切除術、S 状結腸・直腸切除術、直腸切断術など様々な術式を採用し、症例によっては進行癌に対する術前化学（放射線）療法後の腹腔鏡下切除術も行っています。

※ 本データは当院で収集したデータを基に作成しています。